

南那須地域におけるリンドウ新系統「栃木 r 2 号」 及び「栃木 r 3 号」の現地栽培実証

要約

リンドウ新系統「栃木 r 2 号」及び「栃木 r 3 号」を南那須地域で露地栽培した場合の開花盛期は8月初旬であった。採花2年目までの販売所得は、2号が148千円/a、3号が197千円/aであった。

○ 展示のねらい

極早生品種「るりおとめ」を中心にリンドウを栽培する南那須地域では、リンドウ新系統「栃木 r 2 号」及び「栃木 r 3 号」の導入によって需要期である旧盆出荷が可能となり、市場での評価向上と生産者の収益向上が期待される。このことから、現地適応性や経営改善効果、市場性等について検証する。

○ 主な成果

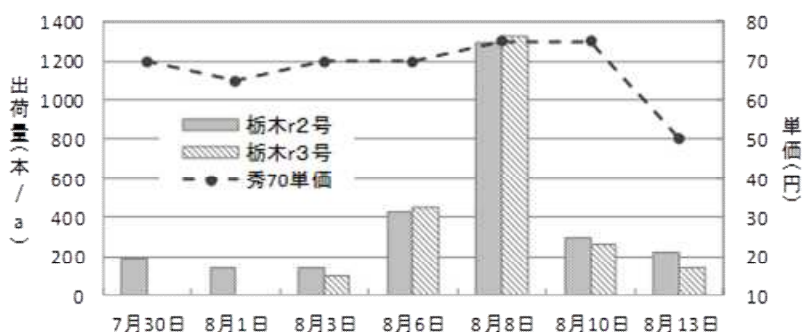


図1 出荷量と平均単価の推移

- ・ 出荷量のピークは8月8日となり、単価が最も高い時期に多く出荷された。
- ・ 1 a 当たりの出荷本数は2号が2,696本、3号が2,282本であった。

表1 定植～採花2年目の栃木 r 2 号、3 号の経営収支 (千円/a)

品種	販売収益	施設資材	種苗費	肥料、 農薬費	その他 資材	差引収益
栃木r2号	255	32	26	46	3	148
栃木r3号	304	32	26	46	3	197

○ 今後の方向性

- ・ 南那須地域での旧盆出荷向け品種として、栃木 r 2 号及び r 3 号の導入を推進する。
- ・ 雨除けは、病害予防のため入梅以前に行うことが好ましい。ただし、早期の雨除けでは節間の伸長により品質低下を招くこともあるので気象条件に応じて調整する。
- ・ 高温期の葉先焼け症状を軽減するため、高温期は遮光資材を展張する。

実施機関：塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：那須烏山市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315